



清水けんいち 市政レポート

政策討議資料
第35号
2016年10月

【ご挨拶】

皆様の、日頃からのご支援ご協力に、心より感謝申し上げます。議員活動を市民皆様に御報告する事で、少しでも開かれた政治にしていきたい。皆様と力を合わせて「住みやすく・暮らしやすく・子育てしやすい街」深谷を実現していきたい！
そうした思いで、「市政レポート」を発行して参ります。

この市政レポートは私の分身です。毎号ファイルに綴って読んでもらっている子は幸せ者で、そのままポイされている子は涙を流しているかもしれません。皆さんにお願いします。どうぞ、この子を可愛がってあげてください。

【議会報告】

深谷市議会 平成28年度 第3回定例会9月議会が終了しました。

主な議案

- ・平成27年度一般会計決算認定（認定）
 - ・総合計画策定条例（可決）
 - ・レンガのまちづくり条例の一部を改正する条例（可決）
 - ・平成28年度一般会計補正予算（可決）
 - ・学童保育室条例の一部を改正する条例（可決）
- （他、市長提出議案20件・報告1件）

【平成27年度一般会計決算の概要】

一般会計の収入済額は、563億3千358万673円で、昨年に比べ約20億円の減となっております。これは市債（借金による借入れ）が減ったのが主な要因です。

一方、支出済み額は517億176万2,027円で、昨年もそうでしたが農林水産業費が膨らんでいます。これは、平成26年2月の大雪で被害に遭われた農家のビニールハウス再建築に掛かった費用を補助するものです。（国が8割、県と市が各1割）また、民生費も確実に伸びてきております。

歳入歳出差引き残額は46億3千403万8,648円で黒字となりました。

一般会計（歳入）

（単位：千円、％）

款	平成25年度	構成比	平成26年度	構成比	平成27年度	構成比
市 税	18,801,682	36.6%	18,737,536	32.0%	18,599,188	33.0%
地方交付税	7,780,140	15.1%	8,229,012	14.0%	8,598,898	15.3%
国庫支出金	6,061,112	11.8%	6,674,851	11.4%	7,097,101	12.6%
市 債	5,272,300	10.3%	5,047,500	8.6%	2,650,500	4.7%
県支出金	2,704,067	5.3%	6,482,828	11.1%	6,598,137	11.7%
繰入金	1,536,177	3.0%	3,238,514	5.5%	485,374	0.9%
諸収入	1,269,938	2.5%	1,212,695	2.1%	975,822	1.7%
その他	7,995,280	15.4%	9,014,476	15.3%	11,330,780	20.1%
合計	51,420,696	100.0%	58,637,412	100.0%	56,335,800	100.0%

一般会計（歳出）

（単位：千円、％）

款	平成25年度	構成比	平成26年度	構成比	平成27年度	構成比
総務費	5,937,856	12.6%	6,446,393	12.0%	7,785,255	15.1%
民生費	18,124,475	38.4%	19,326,885	36.0%	19,552,621	37.8%
衛生費	4,542,905	9.6%	4,637,856	8.6%	4,109,204	8.0%
農林水産業費	1,442,645	3.1%	5,994,269	11.2%	5,227,987	10.1%
土木費	5,505,891	11.7%	5,652,855	10.2%	5,541,188	10.7%
教育費	4,675,345	9.9%	4,942,232	9.2%	3,891,570	7.5%
公債費	3,576,489	7.6%	3,402,652	6.3%	2,885,821	5.6%
その他	3,333,291	7.1%	3,271,063	6.2%	2,708,116	5.2%
合計	47,138,897	100.0%	53,674,205	100.0%	51,701,762	100.0%

○構成比は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

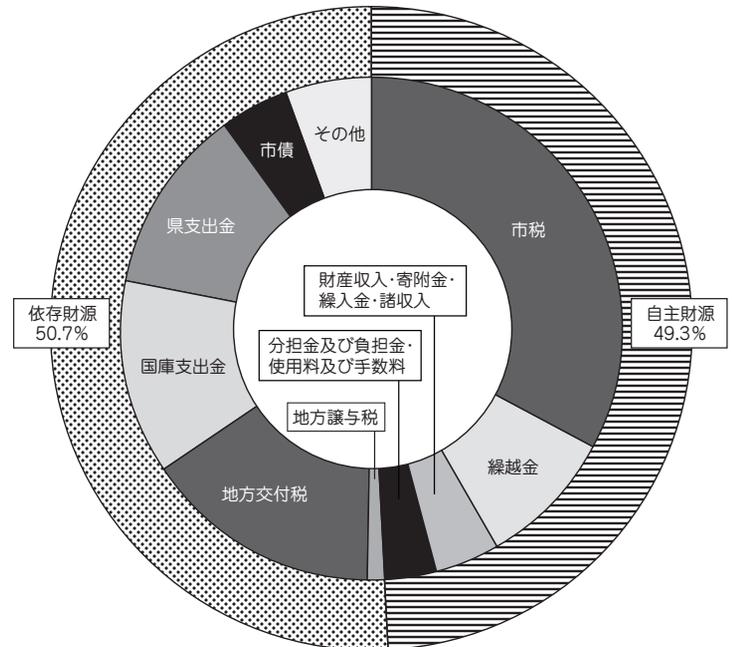
清水の私見



深谷市の収入の内訳は、国や県からの交付金が全体の50.7%で市税などの自主財源が49.3%となっております。市は平成18年に合併し有利な合併特例債（3割を返せばよい）の利用と特別交付税の加算を受けてい

ますが、特例債は平成32年で終了、特別交付税も来年から随時、減額されます。我が国の借金が約1,048兆円という状況の中で、今後、交付税が増えていくということは考えられません。ですので、収入を増やす政策を立案実行していくと共に、支出を抑える努力を怠るべきではありません。そうした視点を市職員は基より、我々議員も、しっかり持ちながら努めていくことが求められております。

平成27年度 一般会計歳入決算款別内訳



子どもたちの“命”を守るために！

議会終了後の議員全員協議会にて、市内全小学生への「ヘルメット」購入費補助が発表されました。現在、花園小や岡部地区の小学校など6校ではヘルメット着用となっておりますが、全ての小学校で実施したいと提案が出され、協議の結果、12月議会で補正予算を組み、来年3月実施に向けて動き出します。

小学生ヘルメット購入費補助について

補助対象

深谷市在住の小学生
※平成29年度は1年生～6年生、平成30年度以降は1年生のみ

補助内容

- ・ヘルメット購入実費の保護者への補助【「ふっかちゃん子ども福祉基金」より】
- ・概ね3,500円

スケジュール（案）



9月22日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)



「我は、生まれながらにして、
之を知るものにあらず」
(孔子)

孔子は、幼い頃に父親を失い、貧しい生活の中で「学の道を志し」、生活のために、様々な技術を身につけていく過程で、苦勞を重ね「得が備わった」と自ら述べています。

私自身、これからも努力を重ね、精進して参ります。

議席番号15番・清水健一、発言通告書に基づき質問に入ります。

質問1 “公共施設のマネジメントについて”

2年前、平成26年9月にも質問させていただきましたが、市内小中学校29校の、児童生徒1人当たりの水道料金に大きな差があり、指摘させていただきましたが、私の調査では、中学校10校では、若干の改善がなされましたが、19校の小学校は、平成25年度の水道料金・合計が31,709,058円、平成26年度、33,824,559円、27年度が33,596,697円と若干下がったように見えますが、児童数も108名減少しております。また、19校中13校が、関係者の、ご努力で対前年マイナスとなったのですが、残り6校の伸びが大きく全体の数字を押し上げております。そこで、27年度の中身を見て見ますと、児童数500名以上の大規模校9校の中で、一人当たりの水道料金が最も低いのが、花園小学校の2,031円、一番高いのが幡羅小学校の8,021円、4倍近くの差が見られます。花園小学校を基準に、市内児童数7,898人を掛けますと16,040,838円、幡羅小学校の8,021円を掛けますと64,771,498円、何とその差は48,730,660円と大きな金額となります。こうした数字を見る限り改善されたようには思えませんが、見解を伺います。

深谷市立小中学校・水道使用調査

深谷市議会 平成26年9月・28年9月議会 一般質問資料 清水健一

	H26生徒数	H26水道料	H27生徒数	H27水道料	対前年額
深谷小学校	592	1,903,351	605	1,738,870	△164,481
深谷西小学校	577	2,031,055	563	2,875,476	844,421
桜ヶ丘小学校	626	3,384,306	619	3,305,251	△79,055
藤沢小学校	630	2,095,000	626	2,015,278	△79,722
上柴東小学校	534	1,785,332	506	1,515,669	△269,663
上柴西小学校	671	2,302,184	616	2,173,063	△129,121
幡羅小学校	549	3,745,733	534	4,379,472	633,739
常盤小学校	607	2,023,605	611	1,803,471	△220,134
明戸小学校	223	1,048,180	228	1,349,680	301,500
大寄小学校	171	1,405,646	171	1,179,551	△226,095
八基小学校	183	1,214,515	178	1,041,139	△173,376
豊里小学校	201	2,272,222	195	1,649,027	△623,195
岡部小学校	347	873,659	346	1,177,219	303,560
榛沢小学校	177	1,146,612	181	956,182	△190,430
本郷小学校	257	1,346,942	270	1,489,037	142,095
岡部西小学校	277	772,250	282	1,133,284	361,034
川本北小学校	461	1,376,091	445	1,362,094	△13,997
川本南小学校	211	1,165,090	201	988,457	△176,633
花園小学校	712	1,932,786	721	1,464,477	△468,309
小学校計	8,006	33,824,559	7,898	33,596,697	△227,862

答弁 2年前に、ご指摘を受けてから、各学校に対してメーターの点検の徹底などを要請し、中学校10校と、ほとんどの小学校で改善が見られましたが、幡羅小や深谷西小などで異常値が出ていることから、専門家による漏水検査を行い、本年、修繕工事を実施しました。今後もメーターチェックの徹底と節水に努めて参りますので、ご理解願います。

再質問 深谷西小では、昨年に比べ約84万4千円も増えています。これをリットル数に直しますと434万4,000リットルとなります。これだけの水が児童数が減っているのに増えるのは異常としか思えません。また、環境問題を考えても大きな問題ではないでしょうか。そこで提案ですが、学校の水光熱費が前年より減ったら、その額の半分を学校に対して「子どもたちの教育に活かすために支給」して、残りの半分は市に入るコンテスト(CO2CO2(コソコソ)削減コンテスト)を実施する考えについて伺います。

再答弁 現在の、光熱水費の支払い方法は、教育委員会で一括して行っていることや、予算編成で学校への裁量権が無い状況では実施が難しいです。

【質問を終えて】

今回は、各学校の水道口径なども調べて見ましたが、花園小や花園中、桜ヶ丘小学校は100ミリ口径で、旧岡部・川本地区の小中学校は50ミリ、旧深谷地区の、ほとんどの学校は75ミリでした。100ミリ口径を75ミリにするだけで年間約28万円の経費が削減されます。

こうした視点を持って取組むべきではないでしょうか？環境問題もそうですが経費削減も“意識”が大切ですよ！と指摘させていただきました。

質問2 公金管理と運用について

我が国は、長引くデフレ経済から脱却するため、政府・日銀を中心に大規模な金融緩和を展開中であり、銀行に預金をしても利息が、ほとんど付かないという状況の中、本年5月6日、市のホームページに「公金運用実績」が発表されました。運用収入1億5,102万8,928円、なんと前年より、9千580万5,483円も増えていました。正直、会計管理者を中心に会計課「凄いな〜」、「良くやったなあ〜」というのが感想でした。

しかし、公金は市民の大切な財産です。

地方自治法・第235条の4には、地方公共団体の歳入歳出に属する現金は、政令の定めるところにより、最も確実かつ有利な方法により、これを保管しなければならないとされており、公金管理に関して、安全性及び流動性の確保、効率性の追求について考えを聞かせてください。また、運用収入及び利回りが、前年に比べ飛躍的に伸びた要因について聞かせてください。

答弁 市では、公金管理方針を定め、安全性の確保を最重要視し、次に支払に支障をきたさないよう必要な資金を確保すると共に、想定外の資金ニーズに備えて流動性を確保し、その上で効率性を追求することとしております。次に、運用収入ですが、約1億5,100万円であります。昨年度と比較して大幅に増加した要因は、基金の債券運用によるものです。

再質問 今は、そういう状況ではありませんが、金融機関が破綻した場合、ペイオフで預金が1,000万円しか保証されませんが、そうなる何百億円の損失となるが、ペイオフ対策は、どうなっているのか。

再答弁 金融機関の格付けや経営状況を、随時、把握しております。また、ペイオフ対策のためにも債券運用などを積極的に行なっております。

【質問の狙い】

壇上でも、申し上げましたが、私は児童や生徒に水を飲むのを我慢しなさいとか、木や草花に水を与えるのを控えなさいと言っているわけではありません。むしろ、予算が厳しい中、光熱水費を削減する過程で、子どもたちの環境意識を高め、そこで浮いたお金を教育費に回すべきと提言したかったのです。これからの行政運営は民間と同じ感覚で“入り(収入)を増やして出る(経費)を抑えて行かなければなりません。そうした事を市職員全員と共通認識として持ちたかった。というのが狙いでした。(伝わったでしょうか?)

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

昭和36年1月27日生まれ(55才)

家族構成 父、妻、長男、長男妻、長女、次女、孫(8人家族)

- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 深谷市立花園中学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- ふかや市商工会 理事
- 深谷市議会 副議長

このレポートは、今、問題になっている「政務活動費」を使わず清水個人の自費で発行しております。